

## 東白川村「自然と共生する美しい村宣言」セレモニー 村長挨拶

皆様

本日はご多用のところ、東白川村「自然と共生する美しい村宣言」セレモニーにご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

東白川村は、山と清流に抱かれた村です。

森林に手を入れ、山からの水を暮らしに生かし、川とともに生きる。

昔からこの村では、そうした自然と寄り添う暮らしが大切に受け継がれてきました。

その思いは、昭和 47 年に制定された自然環境保全条例をはじめ、平成 23 年の「日本で最も美しい村」連合への加盟など、さまざまな取り組みへとつながってきました。

ご紹介申し上げますが、本日は「日本で最も美しい村」連合から二宮副会長様にもご臨席を賜っております。誠にありがとうございます。

さらに近年、本村では、未来を見据えた先進的な環境への取り組みも進められています。

森林組合を中心とした森林整備や、みのりの郷を中心とした水田での取り組みなど、温室効果ガスの削減に向けた活動が行われています。

これらは、環境を守るだけでなく、地域の仕事や経済にもつながる、持続可能な形で進められています。

また、本村では、環境に配慮した森林管理の証である FSC® 認証を岐阜県内で初めて取得しました。現在では、村内森林の大部分が認証を受けるまでに広がり、関係団体と連携しながら、さらなる普及にも取り組んでいます。

そして今回の村議会定例会において、自然環境保全条例が改正され、新たに「自然と共生する美しい村づくり環境保全条例」として生まれ変わりました。改正の主なポイントは三つあります。

一つ目は、村の自然を守るだけでなく、地球環境の保全にも貢献していくこと。

二つ目は、自然を守ることと地域の営みを両立させ、環境と経済がともに成り立つ取り組みを進めていくこと。

三つ目は、自然地域の開発に関する手続きや基準をより明確にし、条例の実効性を高めたことです。

このように、本村の自然環境への取り組みは、他の地域と比べても大変先進的なものだと考えています。

しかしながら、こうした取り組みが村民のみなさんや村外の方々に、必ずしも十分知られていないのが現状です。

私は、これはとてももったいないことだと思っています。

村民のみなさん一人ひとりが、自分の住んでいる村は、こんなに素晴らしい取り組みをしている村として誇りを持てるように。

そして、村外の多くの方々にも、その価値を知っていただきたい。

そのうえで、これからも自然を大切にすることを続け、みんなで力を合わせて自然と共生する美しい村を次の世代へ引き継いでいきたい。

そうした思いから、本日、村議会並びに関係団体(東白川村教育委員会・東白川村農業委員会・めぐみの農業協同組合東白川支店・東白川村森林組合・東白川村商工会・東白川村観光協会・飛騨川漁業協同組合)の代表者が連名で、「東白川村 自然と共生する美しい村宣言」を行うこととなりました。

私は、村長に就任してから、来月で3期12年となります。

これまでの経験を通じて、東白川村の誇りであり、村民の心の支えとなっている最も大切なものは「美しい自然の風景」と「自然を大切にすること」ではないかと強く感じています。

本日は、宣言の署名式の後、「美しい村づくり講演会」として、WWF ジャパンの川江心一さんから、「地球とつながる村づくり 東白川からはじめる“自然と生きる”未来」と題してご講演をいただきます。私自身も、大変楽しみにしております。

本日の宣言セレモニー、署名式・講演会を通じて、村の自然の価値をあらためて見つめ直し、小さな村から地球規模の環境問題へ思いを広げる、そのような機会となれば幸いです。そして宣言するだけでなく、今後のすべての分野の村づくりの指針となることを願っております。

未来に向けて、この美しい村、自然と共生する東白川村をみなさんとともに次の世代へ引き継いでいきたいと思います。

以上をもちまして、私からの開会のあいさつとさせていただきます。